

小田急江ノ島線東林間駅の周辺に店舗を構える約200の加盟店で構成する東林間商店街振興組合（南区東林間）。全長450mのシャンテ大通りを軸に老舗和菓子店からお洒落なバル、ファッションから日用品店まで、さまざまなお店が軒を連ねる市内でも歴史のある商店街として知られています。地元が主体となった多彩な催しを通じて、にぎわいを生むことにも成功しており、この8月、コロナ禍を挟んで4年ぶりに開催された最大のイベント「東林間サマーわぁ！ニバル」は2日間で13万人の来場者を集めました。東林間商店街振興組合を長年にわたって率いる大石方哉理事長に、同商店街の特徴や将来展望をうかがいました。

—まずは、東林間商店街の概要からお聞かせください。

「小田急線・東林間駅を中心に広がる商店街です。振興組合の加盟店は毎年、入れ替わりはあるものの、200店舗に上っており、戦後まもなく創業した老舗から最近オープンしたお店まで、『安心・安全・アットホームなふれあい』をモットーに、お客様の満足にお応えできるよう、日々努めています」

「お客様本位のサービスとして、『りんりんカード』というポイントカードを独自に発行・運営しているのも特徴です。『りんりんカード』は、東林間商店街振興組合のりんりんカード加盟店で、1000円相当の買い物をするごとに1ポイントが付与されるもので、400ポイントを集めると、満点カードとなり、加盟店で5000円相当の買い物ができます。さらに、満点カードは商店街で催すイベントの抽選券や交換券としても利用できるので、お客様からとても好評です」

—東林間商店街は、盛り沢山のイベントが1年を通じてあることでも知られていますね。

「イベントや祭りの多さも自慢かと思えます。今年は新型コロナが感染症法上の5類に緩和された春以降、7月に『サマーセール』と『西口まつり』、8月に『東林間サマーわぁ！ニバル』を開催。秋以降も11月の『わぁ！ぷりぷり東林間』、12月の『歳末感謝セール』と目白押しです。さらに10月と来年2月、3月には『りんりんカード交換会』を予定しています。珍しいのは、こうしたイベントや祭りの企画や運営に、地域の方々为主体的に当たっている点です。外部のスポンサーや行政の力に頼らず、地域の皆で作られています。そのため、事務方からすると、イベントが終わったら一息つく暇もなく、すぐに次のイベントの準備に取りかかるといった忙しさです」

「この中でも『東林間サマーわぁ！ニバル』は1992年から毎年、8月の第

多彩なイベントで 商店街を活性化

東林間商店街
振興組合理事長 **大石 方哉**さん



1土曜、日曜に開いてきた東林間最大の阿波踊りのイベントです。地元の阿波踊り連（団体）に加え、本場・徳島や東京・高田寺の団体も参加して踊り歩く夏の風物詩となっております。今日では、夏の4大祭りの1つとも言われるまでに成長しました。今年は、コロナ禍による3年間の中止を経て、8月5、6日に4年ぶりに開催できました。市立上鶴間中学校のボランティアを含む地域の方々の運営に加えて、新たな取り組みとして、運営費の一部を賄うため、クラウドファンディングを実施しました。幸い、目標の30万円の倍以上となるご支援金を頂くことができ、会場の設営費の一部や『YouTube』のライブ配信費にも充当させても

らいました。『東林間サマーわぁ！ニバル』自体も2日間で13万人の方が訪れるなど、無事終えることができました」

—今後、取り組んでいきたいことについて教えてください。

「商店街は、地域コミュニティの核であります。安心・安全で、高齢者にも子育て世代にも優しい身近で良質な買い物の場を提供できるよう、引き続き、皆で一緒になって努めていきます。加盟店の商環境も良くなっていくと信じています。『東林間サマーわぁ！ニバル』については、あくまで個人的な意見ですが、有料席の導入など含め、より楽しんでいただける運営方法を検討していきたいと思っています」